

ヒットの裏側

需要は高いとみている。

部に暮らす30代などの若

葉モノ野菜を種から栽培

◇

に絞る。近々専用のSNS

を設立。「箱庭栽培」は第一弾の取り組みとなる。

商品は「箱庭栽培」。ケース、LEDライト、液肥、種などがセットになり取りする場に育てる方



同商品は5月28日の販売開始後、一般紙に取り上げられたこともあり、日に数十件の注文があった。想定外の注文の多さから、商品の供給が間に合わない状況となった。

さらにパーツの改良などもすることになり、現在は予約販売に切り替えている。早ければ、7月から供給が再開できる見込みという。

D光を当て、ケースの中

価格は3種類で、一番減。一連の

コストを削減

で液肥を用いて種から無

小さいケース(10センチ×

流通をオン

農薬野菜を育てるとい

10センチ×10センチ)の「ミ

ライン上で

もの。成長までは3〜4

2は5000円からで、完結させる

完結させる

週間程度。種はベビリー

「スタンダード」(30センチ

ことで、相

ム・アグリエナジーユニ

1フやハーフ、レタスな

け×30センチ×30センチ)が

ティ(同)がこのほど販

9800円から、最大の

大幅に価格

売開始した一般家庭向け

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

の野菜栽培キットの出足

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

が好調だ。LEDライト

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

の光と液肥を使い、種か

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

ら無農薬の葉モノ野菜を

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

育てるといふもので、3

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

種類のケースの中から大

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

きさ別に選べる。開始間

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

もなく多くの注文を受け

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

たため、現在は予約販売

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

に切り替えている状況。

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

同社では、食の安心・安

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

全への意識が高まるな

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

か、自宅で簡単に無農薬

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

野菜が栽培できる商品の

「ラーシー」(60センチ×30

を下げてい

エスキュービズム
E A

家庭向け栽培キット

LED光と液肥で野菜育てる

スケースになっているた 個の販売を目指す。 エスキュービズムは、 がある(数崎社長)と、 商品の調達はネットを 通販サイト構築パッケージ 今年4月に農業やエネルギー 使ってBtoBで少量ずつ シなどを手がけている ギーに関する事業を専門 仕入れ、在庫リスクを低 が、「システム化されて に扱う子会社アグリエナ 減する。販路を通販サイ いない分野は開拓の余地 ジーユニティ(AEU) する。

AEUによると、東日本大震災による原発事故を受け、消費者の食に対する意識が変化するなか、自宅で栽培する無農薬野菜への需要は高いと手応えを感じている。今後は同社が工場の中で種から苗を育て、ある程度発育させてから販売していくことも検討している。